

PDF版無料レポート第2巻

<根源法則と一体になろう>

牧村 和幸 著

このレポートは、著作権フリーです。  
引用、転用、転載など、ご自由にお使いください。

※このレポートをダウンロードされた方には、メールにてお知らせや  
ニュースを配信することがございますので、あらかじめご了承ください。

## はじめに

PDF版無料レポートをダウンロードしていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの方と根源法則と気づきの情報を共有したいため、PDF版無料レポート第2巻  
＜根源法則と一体になろう＞  
を作成しました。

どうぞお読みください。

なお、内容は、  
今まで牧村 和幸がいろいろなメルマガで紹介した内容をまとめ、  
編集して、読みやすくしたものです。  
何かのお役に立てれば幸いです。

それでは、無料レポートをご覧ください。

牧村 和幸

## <根源法則の数々>

この世界を支配している根源法則にはどのようなものがあるのか、根源法則の数々を見ていきましょう。

### 1、原因と結果の法則

これは絶対に忘れていけない根源法則でしたね。

いいことも悪いことも全て、

「与えれば、与えられる」のです。

### 2、生命進化の法則

世界の動きは、いつも、

個々の生命や魂が進化できるように、

また、それを目標として、動いていくという法則です。

### 3、調和とバランスの法則

世の中には、調和とバランスをとろうという、

強大なエネルギーが流れています。

ですから、行き過ぎは必ず正されるのです。

### 4、利子の法則

すべてにおいて、利子がつきます。

与えれば、利子がついて返ってきますし、

取れば、利子をつけて取られます。

何かを借りれば、利子を取られますし、

何かを貸せば、利子を取ることができます。

### 5、慣性の法則

電車は急に止まれないという法則です。

最初と最後は、どんなことでも、

莫大なエネルギーを必要としますが、

その中間地点では、

それほど大きな力を加えずとも、

自動的に進んでいくという法則です。

## 6、代償の法則

この世の中で何かを手に入れようとする、  
必ず、何かの代償が必要です。  
それは、大変な努力であったり、  
金銭であったり、  
とても辛い出来事を経験することであったり、  
楽しいことを犠牲にしないといけなかったりと、  
さまざまです。

## 7、十分の一の原理

これは、原因と結果の法則の応用です。  
収入の十分の一を、  
誰かに寄付し続けることによって、  
あなたはどんどん豊かになるという原理です。

## 8、思考は現実化する

これは、法則というよりは、原理です。  
考えたこと、思ったことは、  
いいことであれ、悪いことであれ、  
あとあと実現するという原理です。  
プラス発想が大切です。

## 9、陰陽の法則

物事には、必ずプラスとマイナスがあるという法則です。  
物事には必ず、プラスとマイナスと、  
表と裏があります。  
その両方を合わせて、はじめて一つなのです。

## 10、円と周期の法則

物事は、必ず周期をもっています。  
最終的には、もとの場所に戻るという、  
円のような動きをします。  
そして、1回転するたびに、  
大きなエネルギーを発生します。  
そして、いいとき悪いときといった、  
周期の波を描きながら、進んでいきます。

## 11、万物流転の法則

全ては変化しつづけます。

変化しないものはありません。

私達人間も、変化し続けたいといけません。

## 12、類友の法則

類は友を呼ぶ、すなわち、

似たものが集まってくるという法則です。

似たようなものは周波数が合うためひきつけられます。

上記12個の法則があります。

本当は、原因と結果の法則ひとつだけなのですが、  
その法則から、どんどんと他の法則が派生しています。

さらにどんどん派生して、  
上記12個の法則だけではなく、  
法則は無限に出てきます。  
細則というものです。

今回は、分かりやすく、上記のようにまとめてみました。  
一つ一つの法則は、  
とんでもなく重要なものばかりなので、  
おさらいしておいてください。

## 1. 原因と結果の法則

さて、この世界の最重要な根源法則について、述べておきます。

「与えれば、与えられる」

これです。

唯一無二の最大最重要法則です。

この法則は必ず理解しておいてください。

そうでないと、全ての行動や思考が、  
おかしい方向にそれてしまうからです。

「与えれば、与えられる」というシンプルな法則。  
原因と結果の法則と呼ばれています。

最近では、

たくさんの書物などでも語られるようになってきています。

しかし、何千年もの昔から、数多の聖人君子、聖者や賢者たちが、  
口をすっぱくして語り伝えてきています。

どういう法則なのか、これは、本当に根源の法則です。

日本の法律などは、国会で審議の末、変更が必要であるとされたなら、  
法律改正が可能です。

憲法改正などは、さらに厳格な手続きを踏みますので、  
改正はとても難しいです。

しかし、変える事は可能です。

ですが、「与えれば、与えられる」

この根源法則は、決して変えることのできない普遍の法則です。

昔から、因果の法則、原因と結果の法則、

蒔いた種は刈り取らなければならない、など、

いろいろな言い方で、語り尽くされてきた法則です。

あなたが、いろいろなことに気づけば気づくほど、

この根源法則の存在をいやというほど、思い知らされます。  
どんな偉い人も、豊かな人も、有名な人も、  
この法則の支配からは逃れられません。  
人だけではなく、動物も植物も、  
はては、鉱物や、月や星でさえもそうです。

とてつもなく厳格であり、正確であり、  
強力であり、宇宙全体を支配している法則です。  
何者も、その法則の支配からは、逃れられないのです。  
いろいろな気づきから、疑問が湧いてきます。  
そして、その疑問の答えがすべて、根源法則に行き着きます。  
長々と書きましたが、  
根源法則があるということをまずは知ってください。  
そして、肌で感じてください。  
時に、カルマの法則とも呼ばれます。

さて、この法則は、観念上の、  
また、あくまでも理論上の法則だなどと考えるはいけません。  
実際に作用しています。

内観が進むと、  
眉間の奥にある、アジナーチャクラと呼ばれるセンターが、  
急に動き出して、火花を散らして開く時が来ますが、  
そのセンターが開いている人には、実際に見えます。  
原因と結果の法則が実際に、  
作用しているところを見ることができます。

このセンターが開いている人は、  
まだまだ、世の中には珍しいと思います。  
数は少ないでしょう。  
このセンター、いわゆる第3の目が開いている人は、  
はっきりと法則の存在がわかります。

しかし、眉間のセンターが開くまでは、  
原因と結果の法則にすべてが支配されているということを、  
観念として知り、

日々の観察から、やはりその法則が流れているということを、実感しながら生活していく必要があります。

あなたが、もし、人を傷つけたなら、  
あなたは、後に、傷つけられることになります。  
その相手から返ってくることもあります。  
そうではなく、ほかの人から返ってくることもあります。  
すぐに返ってくることもありますし、  
しばらくしてから、返ってくることもあります。  
逆に、人に何かしてあげたり、  
喜んでもらえるようなことをしたとします。  
法則がはたらいて、あなたには、  
してあげたこと、喜ぶようなことが、返ってきます。

これは、観察していると、  
おそろしいほど正確に返ってくるのが分かると思います。  
あなたがしたことは、そっくりあなたに返ってくるのです。  
まず、最初に気づかなければならないことは、このことなのです。

この根源法則は、誰にも変えられません。  
その上、誰も彼も、この法則に支配されています。

この法則なしには、生きられないし、  
この法則の外に出ることもできません。

ですから、この根源法則をしっかりと理解し、  
この法則に沿った形で生きていくことが求められます。  
どうすればうまく生きられますか。  
原因と結果の法則にのっとって生きればうまく生きられます。

どうすれば、与えられますか。  
与えれば、与えられます。

## 2. 生命進化の法則

この世界には、原因と結果の法則から派生した、「生命進化の法則」というものが流れています。

根源法則は「与えれば与えられる」という、ひとつの法則なのですが、そこから、無数の法則が展開されていきます。その中のひとつに、生命進化の法則があります。

生命進化の法則とは、一体何なのでしょう。

この世界は、生命を進化させるように動くということです。あなたの周りを観察するとよく分かるのですが、この世界は、あらゆる生命を進化させるように、現象を起こします。

人間だけでなく、動植物など、生きとし生けるものすべてに対して、進化させるべく現象が起きてきます。

自然界には、弱肉強食や厳しい自然環境があります。こういった状況では、進化しないと生き残れません。身体のみならず、意識レベルも上がっていかないと、生き残れません。まさに、DNAレベルでの進化が要求されます。

もし、自然環境があまり苛酷でなく、穏やかなものであればどうでしょう。ゆるやかな発達とともに、進化は少し遅れます。

また、人間の環境でも、

食べていかないと生きていけません。  
そのために、集団をつくり、  
食べものが行き渡るように社会がつくられました。  
しかし、その中で、  
やはり競争原理はあいかわらずはたらいしています。

すなわち、他者より優れなければ、  
より多くを獲得することができません。  
このような社会であっても、  
原因と結果の法則からは逃れられませんので、  
どうしても与えた分だけ与えられます。

そのときに、お金、通貨というものが役立ちます。  
与えた分だけ、お金という形で蓄積されます。  
ですから、お金持ちというのは、  
それだけ社会にたくさん与えてきた結果です。  
原因と結果の法則が、厳然と存在し、はたらいしているからです。

さらに、生きていくためには、  
いろいろな問題が起きてきます。  
でも、よく観察すると、  
120%の力を発揮すると、  
乗り越えられるようにうまく問題が発生します。  
これも、生命進化の法則の典型的なはたらきです。

80%で解決できる問題なら、  
人は進化しないからです。  
120%出せば解決できる、  
このくらいの難易度なら、  
人は、困難につぶされずに、  
全力を出せば、乗り越えて進化できるからです。

すべて天の計らいがはたらいしています。

### 3. 調和とバランスの法則

この世界には、原因と結果の法則から派生した、「調和とバランスの法則」というものが流れています。

根源法則は「与えれば与えられる」という、ひとつの法則なのですが、そこから、無数の法則が展開されていきます。その中のひとつに、調和とバランスの法則があります。

調和とバランスの法則とは、一体何なのでしょう。この世界はバランスを保っているということです。

あなたの周りを観察するとよくわかるのですが、この世界は、バランスを保つため、強制的に反対のエネルギーがはたらきます。

「過ぎたるは及ばざるがごとし」とは、よく言ったものです。行き過ぎると、必ず戻されます。そのとき、天が元に戻そうとする、大きなエネルギーが発生します。

例えば、たくさん食べて食べて食べ過ぎるとします。当然、おなかを壊し、体調不良に陥って、しばらく何も食べれない状態になります。

さらには、とてつもなくうまくいっている会社や人がいても、あまりに急速に上昇しすぎたときは、何らかの問題やトラブルが発生して、行き過ぎが正されます。ある時間、下降するようなエネルギーがはたらきます。振り子を振ると、また、返ってきますが、

これが、調和とバランスの法則です。

大自然は、行き過ぎを嫌います。  
行き過ぎると必ず正されます。

行き過ぎないように、  
ほどほどにするということを学びましょう。  
そうでないと、お手入れが入ってしまいます。

## 4. 利子の法則

あなたが、誰かに何かを与えたとき、  
原因と結果の法則により、  
後々、あなたに返ってきます。

そのとき、利子の法則がはたらき、  
少し多い目に返ってきます。

あなたが、誰かから何かを取ったとき、  
原因と結果の法則により、  
後であなたから、その何かを取られます。

そのとき、利子の法則がはたらき、  
少し多い目に取られます。

このように、すべての現象に、  
利子の法則がはたらきます。  
利子がつくのです。

物事は回転しています。  
そして、利子をともなって、  
その回転の大きさが少しずつ広がっていきます。

銀行にお金を貸すと、少し利子がついて返ってきますね。  
また、銀行からお金を借りると、  
利子がついて、より多くを返さないといけませんね。  
これらは、利子の法則のいい例です。

どんどん与えましょう。  
利子がついて、より多くが与えられます。  
人から取らないようにしましょう。  
さもなくば、利子がついて、  
より多くが取られてしまいます。

## 5. 慣性の法則

「慣性の法則」について述べていきます。

電車が動き出すときには、莫大な力が必要になります。しかし、ある程度のスピードが出てからは、そんなに力を加えずとも、自然と電車はある程度のスピードで動き出します。この現象が、慣性というものです。

何でも、最初がとても難しいのです。なぜなら、慣性の法則がはたらくからです。最初、スタート、これがとてもやっかいです。でも、最初がうまくいけば、あとは自動的に進んでいきます。ある程度は力を加えずとも勝手に動いていきます。慣性の法則がはたらくからです。

さらに、最後もとても大変です。やめようとしても、慣性の法則がはたらくので、なかなかやめれないのです。慣性の法則に逆らって、やめようというのですから、これまた、やり始めのとき以上に、莫大な力が必要になります。

このように、慣性の法則がはたらいているので、どんな物事でも、最初と最後が肝心なのです。

スタートに神経をつかって、準備を怠らないことが、万事にわたって大切なことです。さらに、何かをやめるとき、方向転換するときも、最大限の神経を使って、大きな力を加えて、方向転換が必要です。

悪い習慣なども、なかなかやめられません。慣性の法則がはたらいているからです。

ですから、一大決心が必要です。

何かを始めるときと、やめるときに、  
失敗やトラブルが多いです。

なぜなら、慣性の法則がはたらくからです。

最初と、最後、ここをきちんとおさえることができれば、  
その物事はうまくいきます。

## 6.代償の法則

この世界には、  
代償の法則という法則が流れています。

これはどういうことかと言いますと、  
何かを手に入れるためには、  
それなりの代償が必要であるということです。

これは何でもそうです。  
たとえば、何かの試験に合格するためには、  
勉強するという努力が必要です。

さらに、勉強時間をつくりだすために、  
TVを見る時間とか、趣味の時間や、睡眠時間を削ったりします。

このように、何かの代償、  
時には犠牲を払うことによって、  
それ相応のものを手に入れることができるのです。

どんなことでもそうです。  
棚からぼた餅のようなことは、実際には起こりません。  
もし、そう見えるようなことが起こっても、  
それまでに必ず、それなりの代償を払ってきています。

内観においても同じです。  
内観をすすめ、チャクラを活性化し、  
観察者が本来の力を取り戻すためには、  
絶えず自分に気づいている、  
自分を観察し続けるという代償が必要です。

最初のうちは、  
内観はとても大変です。  
自分を観察していても、  
すぐに忘れてしまうからです。

そこで、はっと気づいて、また内観を続けるしかありません。

最初は、とても大変です。

とても疲れます。

でも慣れるにしたがって、

努力なしで、自然に内観することができるようになります。

そして、内観によって、

さまざまな能力開花が引き起こされるのです。

何かを手に入れるためには、

必ず代償が必要です。

特に内観を成就するには、

日々の自己観察という、

大変な作業が、どうしても必要になってきます。

諦めないで続けていきましょう。

## 7. 十分の一の原理

十分の一の原理って何でしょうか。

これは、昔のヨーロッパで実践されてきた慣習のひとつです。  
昔のヨーロッパの人たちは、  
収入の十分の一を教会に寄付していました。  
そして、収入の十分の一を寄付することによって、  
寄付した人達も豊かになっていきました。

昔のヨーロッパでは、そういった習慣がありました。  
そして、その原理は、今でも通用します。

収入の十分の一を誰かに寄付することによって、  
寄付した人は、ますます豊かになっていきます。

寄付する相手は、教会でなくてもどこでもいいのです。  
昔のヨーロッパでは、  
キリスト教が生活に大きな影響を与えていましたので、  
教会に寄付することが多かったようです。  
でも今は、教会でなくても、  
慈善団体でも赤十字でも、知り合いの人でも、  
誰でもいいのです。

収入の十分の一を誰かに寄付し続けることによって、  
あなたは確実に豊かになっていきます。

この原理の奥底には、やはり、  
原因と結果の法則がはたらいています。

与えれば、与えられるのです。  
しかも、利子をともなって。

あなたの周りの豊かな人を良く見るとわかります。  
彼らは、決まって与え好きです。

大富豪と言われる人達は、  
必ず社会に有益になる形で、寄付を行っています。  
仕事を通して自分の能力からつくりだすサービスを与えること、  
持っているものを与えること、  
愛情を与えること、  
などなど、いろいろなものを与えることが好きです。

豊かになるにはどうすればいいのでしょうか。  
どんどん与えればいいのです。  
利子をともなって、あなたに必ず返ってきます。

仕事を通して、サービスや価値をどんどん与えましょう。  
社会に与えるサービスの価値を上げるため、  
自分の技術をどんどん磨きましょう。  
また、持っているものもどんどん与えましょう。

十分の一の原理は、原因と結果の法則の応用原理です。  
十分の一の原理をうまく活用してください。

あなたは、どんどん豊かになっていきます。

## 8. 思考は現実化する

思考について、述べていきます。

世間では、プラス発想や、良いことを想うということが、しきりに言われています。たくさんの本が出ています。さらには、たくさんのプラス発想のセミナーなども開催されています。

こういったものはどうなのでしょう。私も大賛成です。プラス発想を心がけましょう。

思考を観察しているとわかりますが、ある思いが頻繁に浮かぶとき、しばらくしてから、本当にそのことが起こることがしばしばです。

さらに、いろいろな人を観察していると、確かに、病気がちな人はどこが悪い、かしこが悪いといつも言っています。逆に、うまくいっている人は、前に進むことしか考えていません。

マイナス発想は、できるだけやめましょうね。心配ばかりしていると、本当にそうなってしまいますよ。周りにも、伝染させてしまいます。なぜなら、思考は現実化するからです。

例えば、祈りというものがあります。一般にお祈りというものがありますね。

危機に陥ったときなど、誰でも、神頼みなどしますね。神様、助けて！って。

お祈りというものは、プラス発想の極みなのです。それも、自分のことだけじゃなくて、

他の人のことも良くなるように考える。  
さらに、声に出して祈るから、効果は大きいです。

世界が良くなるようにと祈る。  
大勢のプラス発想が寄り合えば、大変な力になります。  
本当に世界は良くなります。

もし時間があるなら、  
世界が良くなるようにって、祈るのもいいですよ。  
あなたの心も豊かになるし、  
実際の効果もある。  
さらには、原因と結果の法則で、  
あなたにもいいことが返ってきます。

思考の力は、馬鹿にしないほうがいいですよ。  
とても強力です。  
はじめに言葉ありきです。

内観が進むと、あんまり考えなくなります。  
無思考です。  
必要なときだけ考える。  
ですから、あんまりぶっそうな考えがないし、  
無の時間が長いですから、  
結構、周りの環境は平穩そのものになっていきます。

プラス発想で、前向きでやっていきましょう。  
あなたの周りの人達も、プラス発想で良い方向に、  
引きずっていきましょう。

## 9、陰陽の法則

この世界には、陰陽の法則が流れています。  
プラスとマイナスの法則です。

どんな物事にも、  
プラスとマイナスがあり、  
表と裏があります。

そして、プラスとマイナス、  
表と裏、  
そのふたつがあって初めて、  
ひとつとして、存在できるのです。

ですから、物事のいい面だけ、  
プラス面だけで判断してはいけません。  
必ずマイナス面を考慮に入れましょう。

そして、必ず裏があります。  
表だけを見て判断してはいけません。

よく効く薬には、大きな副作用があります。  
とても効果のある方法には、犠牲が伴います。  
いいときがあれば、必ず悪いときもあります。

そして、二つとも受け入れると、  
その効果的な方法を認識できます。

プラスとマイナスがあれば、  
そこにエネルギーが生まれ、  
電流が流れるからです。

何かを行うときは、  
必ずメリット、デメリット、  
プラスとマイナス、

表と裏を考えておきましょう。

その上で、副作用をどうするか、  
対策をたてた上で進めていくと、  
大過なく進めることができます。

プラス面、表面だけを見て行動すると、  
大失敗をしてしまいますよ。

注意が必要です。

## 10、円と周期の法則

この世界には、  
円と周期の法則がはたらいています。

すべての物事は、円運動を繰り返します。  
原子の周りを回る電子、  
太陽の周りを回る地球、  
自転する地球などなど。

私達の生活もそうです。  
朝起きて、ご飯を食べて準備して、  
仕事に行って帰ってきて、  
眠りについて、  
また朝起きて・・・  
を繰り返し、円運動を行っています。

そして、周期があります。  
人間の場合もそうです。  
すべての物事には、  
波があり、変化があり、  
そして、その変化には一定の周期があります。

円運動を繰り返し、  
1回転するごとに、  
あるエネルギーを生み出します。

そして、少しレベルアップして、  
次の回転が始まります。

日常生活を観察すると、  
この法則が如実に現れています。

仕事に行って、家に帰り、  
眠りについて、朝起きて、

ご飯を食べて、トイレに行って、  
情報を仕入れて、情報をはき出して、  
息を吸って、息を吐いて、  
大勢の人達と関る時間があるって、  
一人孤独な時間があるってと・・・・・・・・。

そして、1つの回転ごとに、  
何かが生み出され、  
少しずつレベルアップしていきます。

繰り返しの中に成長の種があり、  
少しずつ、円が大きくなっていくのです。

そして、少しずつ、円の質が高まっていくのです。

## 1 1、万物流転の法則

この世界には、万物流転の法則が流れています。  
全ては変化し続けるのです。

自然界だけでなく、動物、植物、鉱物など、  
そして、人間界も含めて、  
絶え間なく変化し続けています。

変化を止めたものは、破壊され、再生という  
変化にのみ込まれていきます。

全てが変化し続けるように造られているのです。  
そして、変化し続けることは、誰にも止められません。

もちろん、速い変化、ゆっくりな変化など、  
変化のスピードに違いはあるでしょう。  
しかし、全ては変化するのです。

人間界も例外ではありません。  
天使の世界、神の世界も同じく変化し続けています。

絶えず学び、変化し続けるよう努力しましょう。  
変化しないと、取り残されます。  
なぜなら、万物は変化するからです。  
万物流転の法則には、誰も逆らえません。

受け入れる、受け入れないに関わらず、  
全ては変化するのです。

人間だけでなく、  
大自然のありとあらゆるものが変化します。

ですから、変化を拒んだときは、  
大宇宙、大自然への反逆となります。

それゆえ、滅び去り、消え行くことになるのです。  
そして、強制的に再生産の材料とされてしまうのです。

変化を嫌うのは分かります。  
それは大変なことですし、  
痛みを伴うことです。

でも、その大変さ、痛みから逃げたとき、  
滅亡が口を開けて待っているのです。

組織、個人を問わず、  
変化し続ける覚悟を決めましょう。

## 12、類友の法則

この世界には、類友の法則が流れています。

こういった法則かといいますと、  
類は友を呼ぶ、すなわち、  
似たものが集まってくるという法則です。

この法則も、  
原因と結果の法則から派生しています。

原因から、結果を生み出すためには、  
やはり、似たものが集まる方が、  
効率がいいからです。

たとえば、人にガミガミ言う癖のある人がいるとします。  
そうすると、いずれ、  
他者からガミガミと言われるという、  
結果がその人に返ってきます。

そこで、天からすると、  
その結果を返すためには、  
その人の周りに、  
やはりガミガミと他者に言う人を配置する方が、  
結果を現しやすいのです。

このような次第で、  
似たようなものが集まっていきます。

波動が合う、周波数が合うので、  
ひきつけられるという理由もあります。

類は友を呼びますので、  
あなたの周りを見れば、  
あなた自身がどんな人物なのかがわかります。

もし、嫌な人物が周りに多いのなら、  
それがあなた自身の中に存在する性質です。

どんどんと改めていきましょう。  
そうすれば、周りも変わっていきます。  
環境も変わっていきます。

もし、素晴らしい人物が周りに多いのなら、  
あなた自身が素晴らしい人物なのです。  
そのために、素晴らしい人物をひきつけているのです。

類友の法則を使って、  
周りの環境をよい方に変えていきましょう。

## おわりに

PDF版無料レポート第2巻  
〈根源法則と一体になろう〉  
は、いかがでしたか。

いままでのメルマガをまとめて、編集したものになりました。  
何かのお役にたてれば幸いです。

第2巻は、ページ数も少なく、コンパクトにまとめてみました。  
また、いろいろと作っていきます。

それでは、またお会いしましょう。

牧村 和幸